

平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム」
[修士課程] 医療系の教育の工夫改善を主とする取組

実践型薬学教育による 臨床指導薬剤師養成



神戸薬科大学大学院薬学研究科

目次

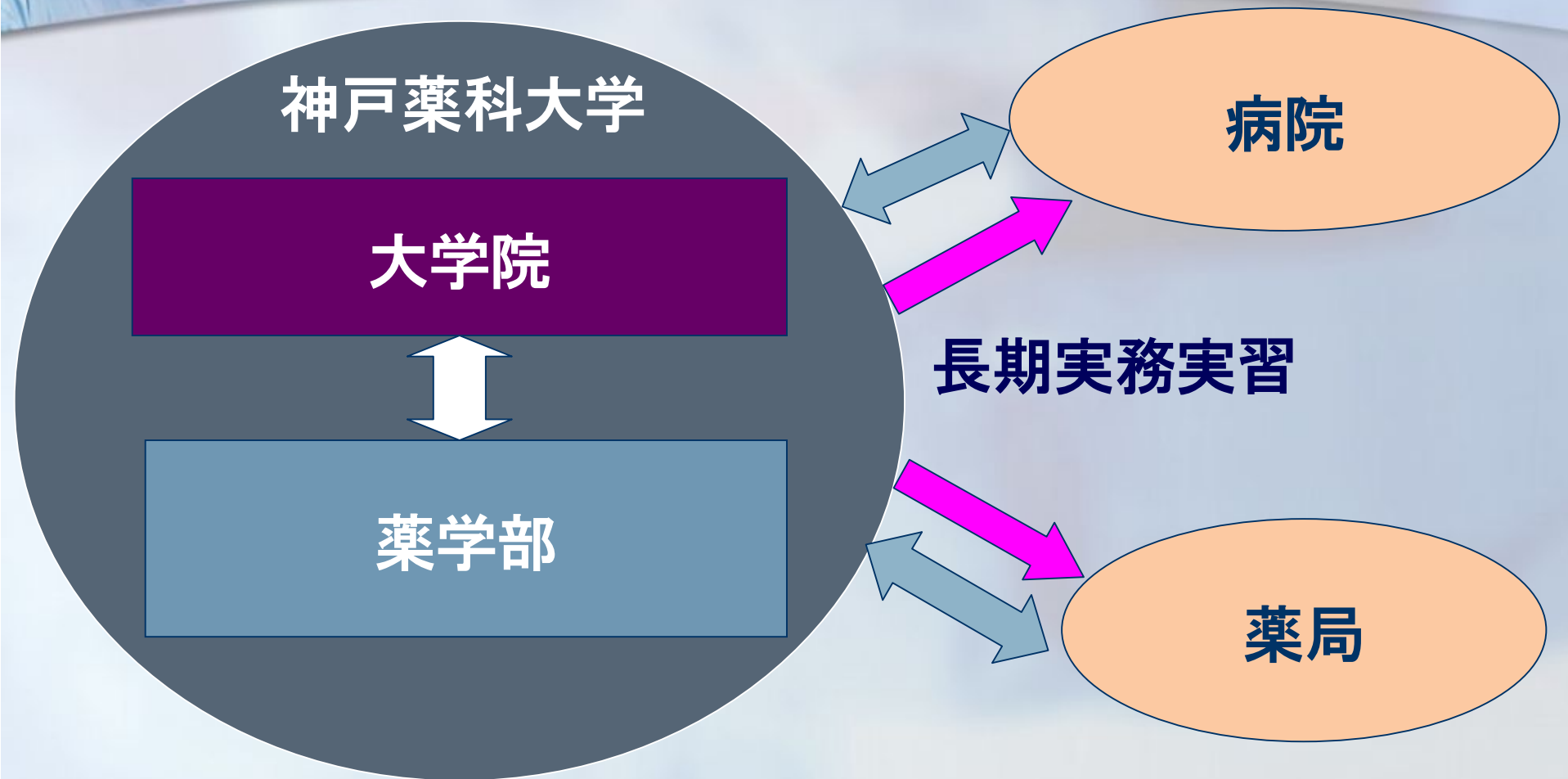
1. 神戸薬科大学の沿革
2. 取組の動機
3. 取組の概要
4. 取組の背景
5. 取組の意義
6. 実施計画



神戸薬科大学

昭和 5年	神戸女子薬学校 開校
昭和24年	神戸女子薬科大学 開設
昭和42年	大学院薬学研究科修士課程(定員12名)開設
昭和54年	大学院博士課程増設
平成 6年	神戸薬科大学 (男女共学)
平成 9年	薬学専攻医療薬学コース設置
平成12年	「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」 拠点校に選定 (現在2期目)
	昼夜開講制導入
	医療薬学コースに社会人入学制度
平成14年	修士課程医療薬科学専攻(定員20名)設置
平成16年	博士課程に社会人特別選抜制度導入
平成18年	薬学部 6年制教育開始


6年制薬学教育における 臨床実務実習充実のための指導薬剤師養成



「薬薬学連携」による新しい薬剤師養成



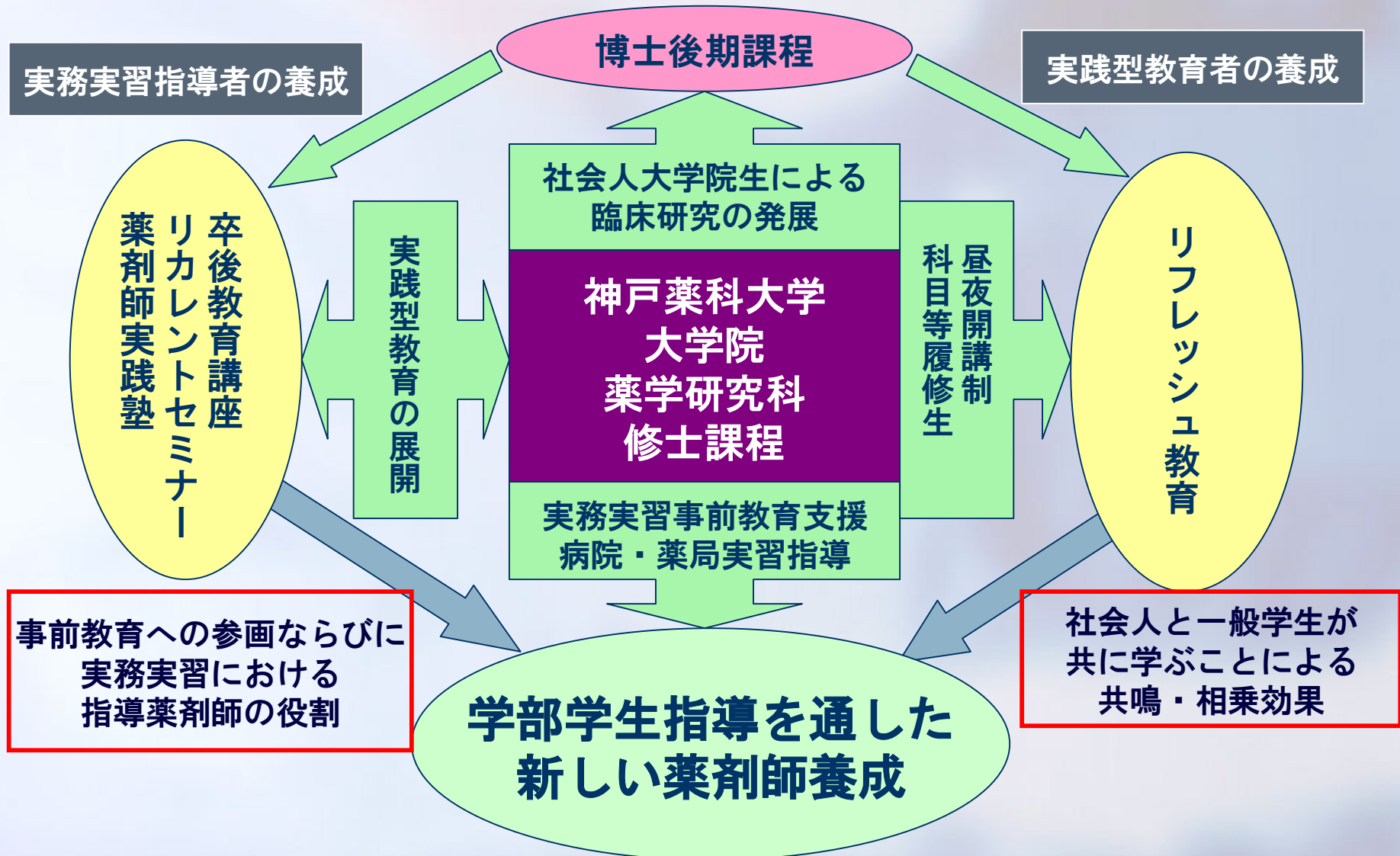
GP-取組の動機


1. 医療薬学教育充実の必要性
2. 薬学教育6年制スタート
中堅薬剤師、新任薬剤師には：
4年制卒業薬剤師が6年制薬剤師を教育指導すること
に対する不安や戸惑い
その他の薬剤師は：
実務経験豊富であるが多忙なために、薬学、医学等の
健康諸科学を体系的に修得する機会に乏しい
3. 全国で行われている生涯教育の大多数は断片的で
ある  **大きな問題点！**



**組織的・体系的かつ実践的な生涯教育体制
構築の必要性**

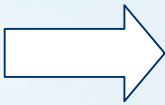
取組の概要





GP- 取組の背景1 大学院薬学研究科

- 平成 9年 医療薬学コース設置
近隣の基幹病院で6ヶ月の実務研修
- 平成12年 昼夜開講制医療薬学コース設置
社会人も対象とする実践型大学院教育開始
- 平成14年 医療薬科学専攻設置
医療薬学コースを臨床薬学コースに改称
- 平成16年 博士課程に社会人特別選抜制度導入



これまでの実績：長期病院研修修了者 78名
社会人入学者 20名
科目等履修生 前期282名
後期403名

大学院修士課程臨床薬学コース

- 特論科目の履修
必修科目

臨床検査学特論、病態生理学特論演習、
臨床薬理学特論、医療倫理学特論、
臨床薬物動態学特論、
医療リスクマネジメント、
医薬情報評価学特論演習

- 6ヶ月の実務研修（近畿地区の基幹病院）

研修内容の指導教員とのディスカッション

- 公開研修報告会での臨床課題研究の発表・討論

研修先病院指導薬剤師参加のもとでの質疑

- 課題研究による修士論文作成と公開論文発表会と審査

臨床薬学実習における 実践型実習とPBL

血中薬物濃度モニタリングの グループ発表と討論

抗悪性腫瘍注射剤の調製



安全キャビネットを利用





GP-取組の背景2

公開卒後教育講座

昭和50年 **卒後教育講座開講**

- ・ 全国有数の開催歴と最大規模の参加者
- ・ 毎年1回3日間開催


平成 6年 公開卒後教育講座に拡充
日本薬剤師研修センター研修単位認定

平成18年 第32回卒後教育講座を9月に開講



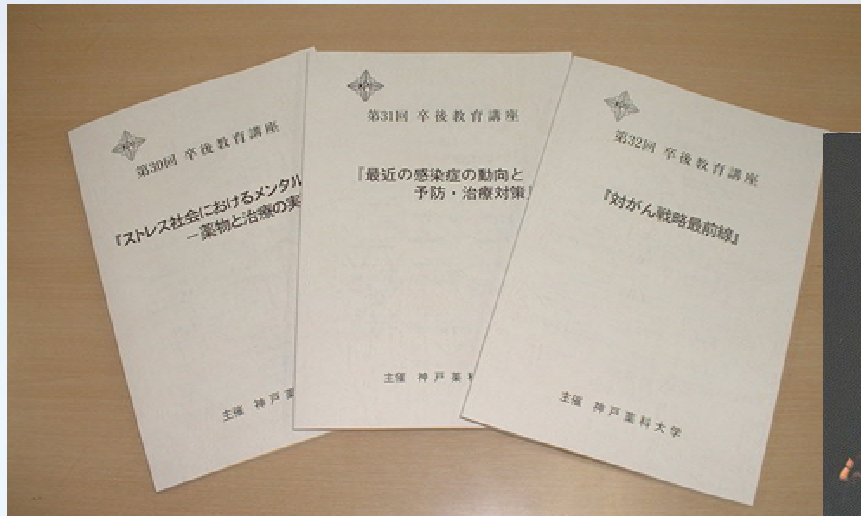
1日約700名の受講者
(内25%は他大学出身者)

卒業教育講座

回数	年度	テーマ	延べ参加数
1	昭和50年	「高血圧をめぐる-薬理、病理の基礎知識」	760名
2	昭和51年	「胃・十二指腸潰瘍をめぐる-病態生理、薬理の基礎知識」	680名
3	昭和52年	「糖尿病をめぐる-病態、薬理、臨床検査」	640名
4	昭和53年	「腎疾患をめぐる-病態、薬理、臨床検査」	660名
			
21	平成 7年	「アレルギー疾患における基礎と臨床」	2,180名
22	平成 8年	「がんの診断、治療から予防まで」	2,920名
23	平成 9年	「呼吸器疾患の最近の動向と治療」	2,620名
24	平成10年	「血液および造血器疾患をめぐる最近の話題」	2,370名
25	平成11年	「今、医療の最前線で何が行われているか」	2,190名
26	平成12年	「21世紀の健康長寿に寄与する薬剤師像」	2,080名
27	平成13年	「免疫疾患の基礎と臨床」	2,148名
28	平成14年	「生活習慣病の予防と治療」	1,781名
29	平成15年	「消化器系疾患の最近の動向と薬物治療」	1,738名
30	平成16年	「ストレス社会におけるメンタルケア-薬物と治療の実践」	2,198名
31	平成17年	「最近の感染症の動向と予防・治療対策」	2,030名
総 計			45,525名

第32回公開卒後教育講座

「対がん戦略最前線」 (平成18年9月2, 3, 10日) 予定



公開卒後教育講座のテキスト



第31回より

GP-取組の背景3 リカレントセミナー

平成10年 少人数制の高度専門領域別セミナー開講
専門性を深め、かつ実践的内容

- ・ 糖尿病、精神疾患などの専門領域
- ・ 各領域で活躍中の指導的実務家を
中心とした講師陣
- ・ 18回の開催実績



これまでに1,100名を
超える 受講者

リカレントセミナー

回数	年度	テーマ	参加数
1	平成10年	服薬指導： 基礎編	108名
2	平成11年	服薬指導： 基礎編	96名
3	平成11年	疾病別服薬指導： 糖尿病	39名



13	平成15年	服薬指導（応用編）： アレルギー性皮膚疾患における服薬指導	101名
14	平成16年	服薬指導（応用編）： 糖尿病	107名
15	平成16年	服薬指導（応用編）： 高齢者への服薬指導	54名
16	平成17年	服薬指導(応用編)： 精神疾患 - うつ病、統合失調症を中心に	118名
17	平成17年	服薬指導(応用編)： 薬剤師のための健康食品・サプリメントの情報提供について	115名
18	平成18年	服薬指導－薬歴簿の基本的な書き方－	50名
		総 計	1,120名

GP-取組の背景4 「薬剤師実践塾」

平成16年 **参加型研修システム開講**

- **全国薬系大学の中で唯一のユニークな企画**
- **再就職薬剤師、新任薬剤師を対象とした少人数制実務研修とワークショップ形式演習**
- **多数の中堅薬剤師が実務指導薬剤師として参画**
- **標準模擬患者（SP）を対象に実践的薬学指導**

「薬剤師実践塾」

回数	年度	テーマ	参加数
1	平成16年	講義「薬剤師倫理」「医療リスクマネジメント」 調剤実務研修、服薬指導研修、薬歴記載研修	23名
2	平成17年	薬剤師倫理と処方箋の見方、調剤の基礎、薬歴の取り方、患者インタビュー、服薬指導の実践、POSとSOAPの基礎、POSの実践	22名
3	平成17年	症例検討（グループ・ディスカッション、服薬指導の準備）模擬患者参加による服薬指導、薬歴作成とまとめ	10名
4	平成18年	講義「薬剤師倫理」「医療リスクマネジメント」 調剤実務研修、服薬指導研修、薬歴の取り方	13名
		総計	68名

「薬剤師実践塾」

ワークショップ形式の演習



模擬患者(SP)への服薬指導 (神戸SP研究会)

GP-取組の意義1

6年制での指導薬剤師

6年制薬学教育：

- 6ヶ月の実務実習が必修科目
- 実務実習指導者の養成と確保が不可欠
- そのためには実務実習指導者養成システムの確立が必要

現状：全国で精力的に指導薬剤師養成の研修実施

課題：臨床課題を発見し、科学的な解決方策の遂行



大学院における組織的かつ効率的な学修が必須

GP-取組の意義2

大学院での教育

医療薬科学科目を修得して修士課程を修了した
新人ならびに社会人大学院生を病院・薬局に
順次配置する体制を構築する



期待される成果：

- ・ 国民から信頼される薬剤師養成
- ・ 修士論文作成を通じた臨床家との共同研究体制の構築
- ・ 関連学会での発表や学会誌投稿論文数増加
- ・ 医療薬科学の発展への多大な貢献を期待



GP-実施計画(平成18年度)

1. 医療薬科学特論科目の充実

「医療リスクマネジメント」

「輸液処方学特論演習」

「医薬品開発特論Ⅱ」

2. 社会人受講生による学内実習指導

トライアル

・実習指導薬剤師としての参画



GP-実施計画(平成19年度)

1. 医療薬科学特論科目の拡充

- ・ 「卒後教育講座」の取り込み

⇒ 「医療実務研修特論Ⅰ」

- ・ 「リカレントセミナー」の取り込み

⇒ 「医療実務研修特論Ⅱ」

2. 学内実習支援体制の確立と検証

- ・ 実務実習事前教育トライアルでの大学院特論受講者の指導参画とその成果検証



GP-実施計画(平成20年度)

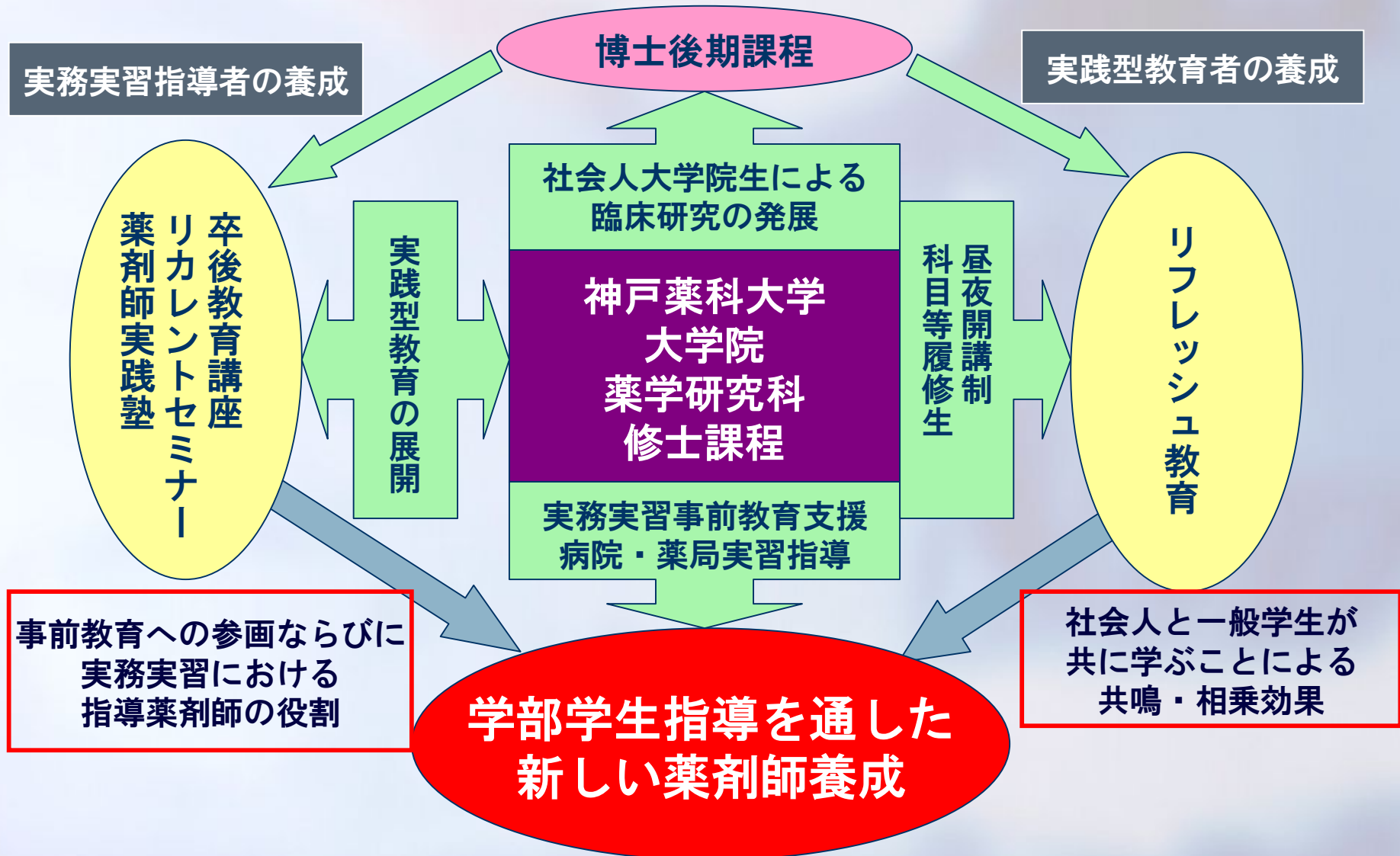
1. 実務実習指導法の検討と評価

- ・ 事前実習施設（新設）での大規模トライアルへの大学院生の参画と成果の検証
- ・ 修士課程修了生就職先の病院、薬局での4年制課程学生に対する実習指導と大学との連携

2. 実務実習テキストの作成準備

- ・ 実務実習事前教育のための教材作成
- ・ 学生評価法の標準化の策定

実践型薬学教育による臨床指導薬剤師養成





ご静聴ありがとうございました。